

菊澤研宗さんと考える 【リーダーの条件】



講師

慶應義塾大学商学部教授

菊澤 研宗 Kenshu Kikuzawa

自由意志を行使できるか。価値判断を下せるか。

近代社会は理念として「自由と責任」を謳いながらも、経済合理性や数理モデル・統計といった科学的方法論を価値判断基準として尊んできました。しかしながら、主観的な判断をするからこそ責任感が生まれ、客観的であるがゆえに無責任を招いてしまうとも言えます。「自由意志(信念・哲学)」に基づき、何が大切なのかを自らの責任で決める「価値判断」ができるかどうかリーダーの条件です。「自由と責任」という概念と向き合い、ドイツ・オーストリア系の社会思想を確認し、日本社会の伝統と特殊性も鑑みながら、この問題を皆さんと一緒に考えたいと思います。

菊澤 研宗

4/22⁺

14:00-17:00

ポパーが論破した
科学主義の限界と自由 1

ポパーは、実証主義科学の万能性を論理的に批判し「すべての問題を科学で解決できるわけではない」と喝破しました。そのメッセージは、数理モデルや統計を駆使した科学的方法論重視の隘路に陥りつつある現代の経済社会への警鐘でもあります。

6/10⁺

14:00-17:00

ドラッカーが唱えた
「人間主義的管理」 4

ドラッカーは、第二次大戦後の自由な経済社会の主役は企業であると提唱しました。そして経営者が自由意志を行使し、人間主義管理を行うことで、イノベーションが生まれ、企業の成長と社会の発展につながると説きました。

5/13⁺

14:00-17:00

ヴェーバーが予言した
「鋼鉄の檻」とアーレントが
見たアイヒマン裁判 2

プロテスタンティズムの宗教倫理が「資本主義の精神」を生んだと説いたヴェーバーは、一方で、目的のため合理的ルールに従うだけの冷酷な組織社会が到来すると予言しました。半世紀後、ナチスのアイヒマン裁判を傍聴したアーレントは、目的合理社会が行き着く先には全体主義が待っていることに気づきました。

6/24⁺

14:00-17:00

小林秀雄が読み解いた
「大和心」と人間の誠実さ 5

小林秀雄は、本居宣長研究を通して日本文化には漢心(からごころ)と大和心(やまとごころ)という二つの精神性が存在したことを紐解いた上で、人間の誠実さにつながる大和心の重要性を説きました。それは、カントやドラッカーにも通じる日本独自の精神性と言えます。

5/27⁺

14:00-17:00

カントが説いた
自由と責任 3

最強の哲学者カントは、自分は何をなすべきかを自らの意志で決め、その責任を負う「自律の人間」になることが、人間が人間である意味だと説きました。自由と責任は対概念だとするカントの思想は、目的合理性にとらわれない人間的社会のあり方を示唆してくれます。

7/8⁺

14:00-17:00

山本七平が憂いた
「空気」を打ち破る 6

山本七平は、日本社会には人々を抑圧する「空気のような支配」が存在すると主張しました。この「空気」を打ち破ることがリーダーの役割であり、そのために自由意志を行使し、価値判断を下すことができるかどうか「リーダーの条件」であることを確認し、全体のまとめとします。

東西の古典をわかりやすく解説

本講座では、カント、ヴェーバー、ポパー等ドイツ・オーストリア系の社会思想と小林秀雄、山本七平といった日本の思想・評論を取り上げ、哲学や社会思想にも精通した経営学者菊澤教授が、現代社会や企業組織の問題に擬えながら解説します。難解な古典の中に埋め込まれた「リーダーの条件」を、菊澤教授がシャープに切り取り、わかりやすく解説してくれます。

開 催 概 要

| | |
|--------------|--|
| 日 程 | 2017年 4/22、5/13、5/27、6/10、6/24、7/8 (すべて土曜日) |
| 回 数 | 6回 |
| 時 間 | 18:30-21:30 (3時間) |
| 定 員 | 25名 |
| 会 場 | 慶應丸の内シティキャンパス |
| 参加費 | 108,000円 (消費税8%込) |
| おすすめ したい方 | ◎自由と責任について深く思索し、議論したい方 ◎経済・社会思想に関わる古典について知見を広げたい方 |

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

菊澤 研宗 (きくざわ けんしゅう)

1957年生まれ。慶應義塾大学商学部卒業、同大学大学院博士課程修了後、防衛大学校教授・中央大学教授などを経て、2006年より慶應義塾大学商学部・商学研究科教授。この間、ニューヨーク大学スターン経営大学院で1年間、カリフォルニア大学バークレー校、ハース経営大学院に2年間、客員研究員として研究を行う。

■主な著書

- 『組織の経済学入門』(有斐閣)
- 『ビジネススクールでは教えてくれないドロッカー』(祥伝社新書)
- 『なぜ「改革」は合理的に失敗するのか』(朝日新聞出版)
- 『組織は合理的に失敗する』(日経ビジネス人文庫)
- 『組織の不条理』(中央公論新社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

| | | | |
|---------------|--|---|--|
| 講座名 | 菊澤研宗さんと考える【リーダーの条件】 | | <input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む |
| 会社・団体名 | | | |
| 所属 | | | |
| フリガナ | | | |
| 氏名 | | | |
| 住所 (資料送付先) | <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒 | | |
| TEL | - | - | |
| FAX | - | - | |
| e-mail | | | |

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いいたします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<https://www.keiomcc.com/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

| | |
|------|--|
| 支払名義 | <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人 |
| 支払方法 | <input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料で負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード |

割引制度 (個人申込みのみ)

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい [_____] <input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引 |
|--|

■割引制度(個人) 夕学五十講、クロッシングは慶應カード割引のみ適用
【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。
◆20%割引：108,000円(消費税8%込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引：上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(夕学五十講、クロッシングは対象外)
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階
株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。